

令和7年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告

I 理事会・評議員会・監査・幹事会の開催状況

1 理事会・評議員会

開催日 令和7年5月30日（理事会）

会 場 障害者支援施設マイトーラ会議室

議 案 ・令和6年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告について
・令和6年度社会福祉法人雪国ボランティア会計決算について
・定時評議員会の招集日程等について

報告事項・理事長及び業務執行理事の職務執行状況について

開催日 令和7年6月16日（定時評議員会）

会 場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

議 案 ・令和6年度社会福祉法人雪国ボランティア事業報告について
・令和6年度社会福祉法人雪国ボランティア会計決算について
・任期満了に伴う役員の選任について

開催日 令和7年6月16日（理事会）

会 場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

議 案 ・理事長の選定について
・業務執行理事の選定について

開催日 令和7年6月30日（提案書による理事会）

議 案 ・障害者支援施設マイトーラ運営規程の改訂（案）について
・指定障害福祉サービス短期入所事業所マイトーラ運営規程の改訂（案）について
・指定特定相談支援事業者相談支援センターマイトーラ運営規程の改訂（案）について

開催日 令和8年3月30日（理事会）

会 場 障害者支援施設マイトーラ 会議室

議 案 ・令和7年度社会福祉法人雪国ボランティア第2次補正予算（案）について
・令和8年度社会福祉法人雪国ボランティア事業計画（案）について
・令和8年度社会福祉法人雪国ボランティア会計予算（案）について

2 監査

開催日 令和7年5月22日

会 場 障害者支援施設マイトーラ 相談室

監査事項 ・令和6年度の理事の業務執行の状況および財産の状況について監査を実施した。

3 幹事会

特別に協議戴く重要案件等が無かったため、「事業計画と予算並びに事業報告と決算」等での報告で幹事会に代えた。

【利用者（入所者）の状況】 令和8年3月31日現在

市 郡 名	市町村名	人 数	男・女別	(内低肺機能者)
南魚沼市		16 名	男 5・女 11	
魚沼市		4 名	男 1・女 3	
南魚沼郡	湯沢町	3 名	男 1・女 2	
十日町市		18 名	男 11・女 7	
上越市		1 名	男 1・女 0	
長岡市		1 名	男 1・女 0	
柏崎市		4 名	男 4・女 0	
東京都		2 名	男 2・女 0	
小千谷市		5 名	男 2・女 3	
三条市		1 名	男 1・女 0	
		55 名	男 28・女 27	(男 ・女)

市町村別入所者・人数 (R7. 4. 1～R8. 3. 31)

南魚沼市	4 名	湯沢町	1 名
十日町市	5 名	三条市	1 名

市町村別退所者・人数 (R7. 4. 1～R8. 3. 31)

魚沼市	5 名	上越市	1 名
十日町市	1 名	津南町	1 名

【事業の稼働率】 (単位：％)

	入所支援	生活介護		入所支援	生活介護
R7/4	85	85	11	83	85
5	85	87	12	88	92
6	87	90	R8/1	87	90
7	90	92	2	90	92
8	85	88	3	92	96
9	83	85			
10	80	86	年間	86	89

【短期入所事業の利用状況（R7. 4. 1～R8. 3. 31）】

1. 短期入所

総利用延人数	一日平均人数	前年度実績
1, 243	3. 40	1, 007/2. 75

月別	R7/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8/1	2	3
延人数	95	101	125	109	118	105	130	111	47	98	94	110

【月別面会状況（R7. 4. 1～R8. 3. 31）】

月別	R7/4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8/1	2	3
延人数	35	35	24	30	34	18	28	16	23	27	39	35
日平均	1. 1	1. 1	0. 8	1. 0	1. 1	0. 6	0. 9	0. 5	1. 2	0. 7	1. 4	0. 9

【入所者の障害支援区分表（R8. 3. 31 現在）】

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性利用者	0	0	1	6	10	11	28
女性利用者	0	0	2	9	6	10	27

【入所者の障害起因疾患名（R7. 3. 31 現在）】 重複あり

疾 患 名	人数（人）	疾 患 名	人数（人）
脳性麻痺	6	脳腫瘍	1
頸椎損傷	3	急性硬膜外血腫	1
脳内出血	4	高次脳機能障害	2
脊髄小脳変性症	1	てんかん	3
脳梗塞	8	精神遅滞	3
脳挫傷	7	筋ジストロフィー	1
知的障害	11	脊髄損傷	1
低酸素脳症	1	視覚障害	1
精神疾患	8	ニューロパチー	1
白質脳症	2	モヤモヤ病	1
びまん性軸索損傷	1	パーキンソン病	1
脳内鉄沈着神経変性症	1	多発性硬化症	1
糖尿病	1	変形性股関節症	1
肺動脈性肺高血圧	1	頸部後屈ジストニア	1
胸椎後縦靱帯硬化症	1	合計	75

【年齡別・男女別人員構成（R8. 3. 31 現在）】

男性 女性 合計

18 歳以上 20 歳未満	0	0	0
20 歳以上 30 歳未満	0	0	0
30 歳以上 40 歳未満	0	0	0
40 歳以上 50 歳未満	4	3	7
50 歳以上 60 歳未満	9	8	17
60 歳以上 70 歳未満	14	12	26
70 歳以上 80 歳未満	0	3	3
80 歳以上	1	1	2
合 計	28	27	55
最高年齢	80	84	
最小年齢	42	51	
平均年齢	58.4	61.2	59.8

【法人・施設事業実施状況一覧表（令和7年度）】

実施日	実 施 内 容
4月20日	家族会総会 イベント「春の宴」
5月14日	職員健康診断
5月16日	冷暖房切替作業
5月21日	総合避難訓練、消防設備点検
5月22日	法人役員（監事）による監査
5月28日	イベント「入所者バスツアー」
5月30日	理事会開催
6月16日	定時評議員会開催
6月18日	自治会主催「オセロ大会」
6月27日	県身協主催「オセロ交流会」へ入所者参加
7月 4日	障害者福祉施設の見学及び交流体験 八海高等学校3年生2名来所
7月16日	参議院議員通常選挙不在者投票
8月16日	イベント「納涼祭」
9月 7日	欠之上地区防災訓練実施に伴う敷地内立ち入り
9月 9日	自治会主催「焼肉大会」（延期）
9月17日	自治会主催「オセロ大会」
9月18日	実習生受入れ 笹岡 樹さん 10月1日まで
9月24日	ボランティア「サトイモの会様来所」
10月 7日	南魚沼消防署本部立入検査
10月15日	南魚沼市議会議員一般選挙不在者投票
10月17日	冷暖切替作業
10月22日	消防避難訓練、消防設備点検
10月24日	県身協主催「スポーツ交流会」へ入所者参加
10月25日	イベント「文化祭」
10月27日	地域連携推進会議開催
10月29日	職員健康診断（特定業務従事者）
11月21日	入所者対象インフルエンザ予防接種
11月26日	イベント「入所者バスツアー」
12月10日	自治会主催「オセロ大会」（中止）
12月17日	イベント「入所者クリスマス忘年会」（中止）
12月27日	自治会総会（中止）
1月16日	南魚沼市による社会福祉法人等指導監査

2月19日	自治会主催「親睦会」(中止)
3月22日	自治会総会
3月27日	理事会開催
※ 階段昇降機・ダムウエーター・電気設備・消防設備は、定期点検実施。	

【職員研修・会議出張状況（令和7年度）】

開催日	氏 名	内 容（用件）	行 先	所 属
4月15日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
4月17日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
4月18日	全職員	施設内研修「クリーン作戦」		
5月15日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
5月19日	林 みどり	まきはたの里現場研修	南魚沼市	係 長
5月20日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
5月23日	井口 隆人	八海高等学校福祉課特別講義	南魚沼市	施設長
5月29日	全職員	施設内研修「ハラスメントについて」		
6月 4日	池田 和幸	個別避難計画作成に関する説明会	南魚沼市	課 長
	廣田 雅子	個別避難計画作成に関する説明会	南魚沼市	係 長
6月 6日	井口 隆人	障害福祉関係施設長会議 オンラインにて		施設長
6月11日	齋藤 健二	南魚沼地域施設感染症対策委員会 オンラインにて		看護師
	岡部 侑斗	南魚沼地域施設感染症対策委員会 オンラインにて		支援員
6月17日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
6月18日	高橋 智巳	相談支援従事者初任者研修 オンラインにて		支援員
	井口 貴子	相談支援従事者初任者研修 オンラインにて		事務員
6月19日	井口 隆人	関プロ総会・施設長会議	宇都宮市	施設長
	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
6月23日	井口 隆人	南魚沼市社会福祉協議会評議員会	南魚沼市	施設長
7月 1日	井口 隆人	南魚沼市自立支援協議会	南魚沼市	施設長
	池田 和幸	南魚沼市自立支援協議会	南魚沼市	課 長
7月 2日	池田 和幸	魚沼圏域障害者地域生活支援連絡調整会議	南魚沼市	課 長
7月 3日	井口 隆人	南魚沼市ボランティアセンター運営会議	南魚沼市	施設長
7月15日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
7月17日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
7月18日	井口 隆人	新潟県身体障害者施設協議会施設長・庶務課長会議	長岡市	施設長
	星 優	新潟県身体障害者施設協議会施設長・庶務課長会議	長岡市	課 長
8月12日	役職職員	生産性向上研修		
8月19日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長

8月21日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
8月21日	選任職員	生産性向上研修		
8月26日	富田 百恵	新潟県身体障害者施設協議会職員研修会	長岡市	主 任
9月10日	齋藤 健二	南魚沼地域施設感染症対策委員会 オンラインにて		看護師
	岡部 侑斗	南魚沼地域施設感染症対策委員会 オンラインにて		支援員
	井口 隆人	国勢調査実地調査業務説明会	南魚沼市	施設長
9月16日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
9月18日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
9月24日	井口 隆人	安全運転管理者等講習会	南魚沼市	施設長
10月 1日	高橋 智巳	相談支援従事者初任者研修 オンラインにて		支援員
	井口 貴子	相談支援従事者初任者研修 オンラインにて		事務員
10月 2日	選任職員	生産性向上研修		
10月16日	役職職員	生産性向上研修		
	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
10月21日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
10月22日	青野 賀子	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）	新潟市	支援員
10月30日	高橋 宏伸	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）	新潟市	係 長
	林 みどり	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）	新潟市	係 長
	高橋 智巳	サービス管理責任者基礎研修（演習部分）	上越市	支援員
	井口 貴子	サービス管理責任者基礎研修（演習部分）	上越市	事務員
10月23日	全職員	施設内研修「クリーン作戦」		
11月 6日	選任職員	生産性向上研修		
11月13日	廣田 雅子	他分野協同をすすめる検討会	南魚沼市	係 長
11月18日	井口 隆人	関東・甲信越地区身体障害者施設総会・施設長会議	高崎市	施設長
	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
11月20日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
	役職職員	生産性向上研修		
11月25日	井口 隆人	湯沢町障害者自立支援協議会	湯沢町	施設長
11月27日	岡部 侑斗	感染予防対策リーダーフォローアップ研修	南魚沼市	支援員
	関係職員	施設内研修「感染対策」		
11月28日	星 優	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者並びに専門職会議	長岡市	課 長
	井口 貴子	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者並びに専門職会議	長岡市	事務員
	菅 亮介	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当者並びに専門職会議	長岡市	栄養士
	廣田 雅子	うおぬま圏域相談支援ネットワーク会議	南魚沼市	係 長
12月 2日	池田 和幸	重症心身障害研修会	新潟市	課 長
12月 4日	選任職員	生産性向上研修		

12月10日	岡部 侑斗	八海高等学校福祉課特別講義	南魚沼市	支援員
12月15日	役職職員	BCP 訓練 屋上自家発電の操作研修		
12月16日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
12月18日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
	選任職員	生産性向上研修		
12月19日	井口 隆人	南魚沼市社会福祉協議会評議員会	南魚沼市	施設長
1月20日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
1月22日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
2月17日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
2月19日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
2月20日	井口 隆人	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当国会議	長岡市	施設長
	星 優	新潟県身体障害者施設協議会庶務担当国会議	長岡市	課 長
2月25日	全職員	施設内研修「救命救急」		
2月26日	井口 隆人	関東・甲信越地区身体障害者施設総会・施設長会議	長野市	施設長
	星 優	報酬改定と処遇改善のセミナー	新潟市	課 長
	井口 貴子	報酬改定と処遇改善のセミナー	新潟市	事務員
	池田 和幸	魚沼圏域障害者地域生活支援連絡調整会議	南魚沼市	課 長
3月17日	池田 和幸	介護認定審査会	南魚沼市	課 長
3月19日	池田 和幸	相談支援事業所連絡会議	南魚沼市	課 長
	井口 隆人	南魚沼市自立支援協議会	南魚沼市	施設長
3月26日	井口 隆人	湯沢町障害者自立支援協議会	湯沢町	施設長

【令和 7 年度事業計画による実施状況】

Ⅱ 重点項目並びに目標

項目目標	年度未達成状況
1 職員の教育 事業の安定的な継続には人材確保が不可欠である。そのため、人材を確保するとともに教育にも力を入れ、今年度は「人を育て、法人もともに成長する」を事業の根幹に据えて運営を行う。 ＊職員の資質向上・必要知識・技術の習得のための外部及び内部研修の充実を図る。	→生活支援員の欠員補充ができず、人員不足の中での一年間であった。 教育については、内部研修の充実を図ったことで、職員の意識の中にその成果が表れていると認識し、また継続することの必要性も感じている。
2 中期的な施設の運営と継続事業他 (1) 人口減少や急速な高齢化により、障害者福祉に求められるニーズが多様化してきている現状を踏まえ、魚沼圏並びに十日町圏域を中心に、障害者福祉分野の担い手として、また地域を支える役割を担うものとして、求められる障害者支援に貢献していく。 ①障害者自立支援法のもと、身体障害者に拘ることなく知的障害者・精神障害者の利用を推進し、施設の運営を安定させるための利用者を確保する。 ②社会福祉法人雪国ボランティアに課せられた社会的使命を果たす。 ＊入所率 100% ＊入所定員 60 名 ＊誘致活動 ・県内を中心に相談支援事業所や医療機関へ誘致のための働き掛け継続 (2) 安定した施設運営 ＊感染予防対策等を徹底 ＊休業することなく施設運営 (3) 広報活動 ＊施設広報 ＊求人活動 ＊動画系 SNS「Social Networking Service」を利用	→圏域に限らず県内市町より入所希望について問い合わせがあり、その要請に応えるべく対応を行った。 →障害の種類に拘ることなく、新規入所者を受け入れた。 →入所率の向上を目指したが退所される方も多く社会的使命の達成には至らなかった。 県内の相談支援事業所並びに医療機関等を定期的に訪問し、入所希望者の情報確保に努めた。 →感染予防に努めたが、コロナ感染の発生を抑えることができなかった。(施設内感染 2 回) →年一回広報の発送。ホームページ内でのブログの更新、ユーチューブによる施設情報の公開等を行った。

(4)「地域における公益的な取組」を実施する責務 ＊新潟県社会福祉経営者協議会「にいがたセーフティネット事業」の継続的な推進 3 近隣地域との連携強化 ＊地域住民との良好な関係を構築 ＊施設広報の配布 ＊地域貢献（福祉車両の貸し出し等）による連携構築 4 家族及び身元引受人等からの協力体制 (1)家族会において施設の運営方針や個別支援計画の説明 (2)家族会において施設の運営方針や個別支援計画への協力要請 (3)施設と利用者が共通認識に立った施設運営 (4)家族へは活動面における協力体制の継続要請 (5)成年後見制度の利用（特に利用者の権利擁護）については、家族或いは身元引受人に対して積極的な対応を推奨 5 防災計画 ＊マイトラ消防計画に基づき、防災管理体制の遵守 ＊防災計画により火災予防訓練等 6 地域との交流及びボランティアの受け入れ ＊文化祭や納涼祭等の施設行事を通じた地域との交流 ＊各種団体、個人によるボランティア活動との円滑な関係構築 ＊新たな個人、団体の受け入れについても幅広く要請（ボランティア受け入れ計画はボランティア委員会事業計画に基づく。） 7 会議の開催並びに職員の研修 ＊施設の適正な運営を目的とした会議を開催	→計画通り実施できたが、利用希望者はいなかった。 →欠之上高齢者サロンより介護支援方法等について講演の依頼があり計画したが、先方の都合で中止となった。 欠之上地区全世帯へ広報を配布。福祉車両の貸し出しについては、南魚沼市社会福祉協議会より借用の要請があり貸し出しを行った。 →家族会との協力体制の維持に努めた。 →計画通り実施できた。 →宣伝を目的に公民館等に案内を掲示したが、コロナ以降来訪者は減少している。 →個人によるボランティアが少しずつ定着してきている。 →計画通り実施できた。
---	--

＊職員の資質向上と職務に必要な知識、技能の修得を目的とした施設内外の計画的な研修計画の策定	
--	--

Ⅲ 所属毎の方針及び計画

1 総務課 事務係 (1) 利用料徴収 ＊現状の利用料徴収率 100%を維持 ＊自動収納手続きを継続 (2) 各部所の連絡調整 ＊各部所間との円滑な連絡と調整 (3) 介護給付費請求業務 ＊適正請求 ＊取得可能な単位の確認と提案 (4) 設備・備品の入替や購入 ＊収支予算を組み立てた上での所属長との協議、調整による入替及び購入 (5) 法人会議の開催準備 ＊理事会並びに評議員会等、法人が開催する会議の準備と設営	→利用料の徴収不納はなかった。 →総務課を中心とした連絡調整を円滑に行なった。 →新たな介護給付費加算の取得に努めた。 →計画通り実施できた。 →事前準備等により、会議は滞りなく開催できた。
2 生活支援課 支援係 支援計画係 (1) 支援係の目標として次の項目 ①施設内での感染症発生予防 ＊職員に対して基本的な感染対策（マスク着用、手指消毒）指導管理 ＊施設内消毒並びに換気（一日1回） ②利用者確保のための連携システムを構築 ＊各関係機関となる相談支援事業所会議への参加や県内相談支援事業所の訪問 ③利用者確保に伴う設備整備と備品の入替や新規購入対応 ④口腔ケア対応 ＊嘱託歯科医師と連携 ＊利用者の口腔衛生の向上 ＊誤嚥性肺炎の予防 ＊職員の歯科的知識の向上	→感染予防を行っていたが、コロナ感染症の発生があった。 →医療機関、相談支援事業所等へ連絡を取り、利用者確保に努めた。 →必要物品等の調達はできた。 →嘱託歯科医師の定期的訪問にて実施できた。

⑤コミュニケーションを重視した働きやすい職場環境づくり * 普段の声掛け * 積極的な相談対応 ⑥合理的配慮の実践 * 利用者とのコミュニケーションの機会を増やす * 傾聴を心掛け、利用者の言葉の中から想いを掴み取る * 利用者の人格を尊重し、身体拘束ゼロを目指す ⑦事故防止 * 看護係、訓練係、給食係との多角的な視点での連携 ⑧生活支援員としての知識並びに介護技術の向上 * 施設内への研修参加 * 施設外への研修参加 * リモートによる研修等にも積極的に参加 ⑨個別支援計画に基づく介護・支援技術等の統一化 * スタッフ会議での情報交換 * ミーティングでの情報交換 * 記録システムを活用した職員間の連携 * 利用者並びに家族との連絡調整による信頼関係の構築 * 支援計画作成時 * 家族会開催時 ⑩利用者並びに家族との信頼関係に基づく協力体制の構築 * 支援計画作成時 * 家族会の開催時 (2) 支援系の業務内容 ①事故の予防 * 月1回の事故対策検討会議の開催 * 事故防止対策委員会を中心とした事故の検証 * 事故防止策の提示 * 事故防止対応 ②入浴の支援 * 週2回実施。(一般浴、リフト浴、特殊浴槽浴) * 利用者の心身の状況を把握	→生活支援係長を中止に生活支援員とのコミュニケーション調整に努めた。 →身体拘束ゼロは実施できた。 →県への報告が必要な事故（骨折）が1件あった。 →リモート研修を含めた各種研修を実施した。 →ケア会議での確認や伝達事項をスタッフ会議や記録システム等を利用し、関係職員へ伝達周知した。 →家族とは、面会時或いは必要な時に連絡を取り、利用者様の健康状態等を報告し、併せてコミュニケーションも図った。 →事故対策検討会議やスタッフ会議を利用し、事故内容の確認と事故防止について協議を行い、職員に周知した。 →感染症発生時以外は、計画通り実施できた。
---	--

*可能な限り自立した清潔保持の支援 ③排泄の支援 *羞恥に考慮した排泄支援 *排泄の自立に必要な援助及びオムツ交換等 ④食事の支援 *栄養ケア計画に基づいた可能な限り自立した食事支援 *食事支援のための給食係（管理栄養士）と看護係連携 *利用者の嚥下、咀嚼状態や嗜好も考慮した食事の提供 ⑤健康管理 *嘱託医、主治医、看護係との連携 *利用者の異常の早期発見 *健康保持のための支援 ⑥日中活動 *週5回（月曜日～金曜日）の開催 *日中活動の充実のため、一階の生活介護のフロア一に活動の場を提供 *カラオケ大会 *スイーツ作り等行事 ⑦権利擁護・虐待防止 *施設内の研修への参加 *施設外の研修への参加 *参加利用者の権利擁護、虐待防止等の取り組みに必要な知識の習得 *合理的配慮として、個々の利用者に合った ・居室の間取り ・食器の選定 ・食事形態 ・入浴方法 ・選定入浴機材 （３）支援計画係の目標として次の項目 ①個別支援計画 *個別支援計画の平準化 *利用者の誕生月を基準にして個別支援計画の作成	→計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →職員体制が整わなかった日以外は、概ね計画通り実施できた。 →リモート研修等利用し、更なる知識の向上を図った。 →計画通り実施できた。
--	---

*本人への聞き取りと過去の病歴行動を参考にしたモニタリング *家族への聞き取りと過去の病歴行動を参考にしたモニタリング *本人への聞き取り調査等での意向、課題を正確に把握 *家族への聞き取り調査等での意向、課題を正確に把握 *より利用者の立場に立った個別支援計画の作成 *6ヶ月に1回、生活全般に関わるモニタリング項目の調査、聞き取りにて課題を抽出 ②支援計画 *市町村並びに相談支援センター等との密な連絡 *地域生活移行に向けた支援計画を作成 *必要に応じて個別支援計画の修正 (4) 支援計画系の業務内容 ①個別支援計画の作成 *利用者との面談等で本人の意向と課題を把握した目標の設定 *利用者本人も参加した中でカンファレンスを開催し、個別支援計画を作成 ②個別支援計画の見直し *6ヶ月に一回の見直し若しくは本人の心身の状態に変化があった場合の見直し ③支援の確認 *担当職員による利用者への支援計画の確認 *利用者への聞き取りやモニタリングの際の支援計画の確認 *必要があれば指導、助言 3 生活支援課 看護係 (1) 健康管理 *保健衛生計画を策定 *入所者の健康管理 *職員の健康管理 (2) 嘱託医・主治医との連携 *嘱託医・主治医への利用定期健康診断の結果や対	→計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →定期受診及び回診時、利用者の状況報告を行い、治療に結び付けることができた。
--	--

象の変化報告 ＊利用者の健康状態変化の早期発見と早期治療への対応 (3) 医療機関連携 ＊協力病院や利用者が受診する医療機関と連携 ＊適切な通院治療 (4) 利用者自身が健康管理 ＊必要に応じた助言と指導 ＊一緒に考え、寄り添う対応 (5) 感染対策 ＊感染予防と拡大防止に向けた標準予防策の徹底と継続 ＊感染予防と拡大防止に向けた標準予防策の必要性の職員への周知活動 (6) 歯科診療への対応 ＊嘱託歯科医師による利用者口腔内診査情報と歯科受診との連携対応 (7) 新型コロナウイルス感染症への対応 ＊日常的な健康観察 ＊感染爆発に対する感染予防の継続 ＊地域周辺の感染状況や変化する情報を収集 ＊適時、必要な対策を検討し実行 ＊利用者の感染対応 -発熱や上気道症状出現者が発生した場合- ・マニュアル対応の開始 ・速やかな隔離対応 ・協力病院への連絡 ・PCR 検査の実施による早期に感染の有無の判定 (PCR 検査とインフルエンザ検査の同時実施) ＊職員の感染対応 ・体調不良となった場合、速やかな状態報告と上司への指示の確認 -発熱・上気道症状が出現した場合- ・当該者が協力病院へ連絡 ・PCR 検査 ・早期に感染の有無の判定 ただし、事前に抗原検査を行い陽性確認した場	→定期受診や急な受診にも対応することができた。年間の外来受診延べ人数は、804 人であった。 延べ入院人数は、29 人。延べ入院日数は、657 日。 →日々のラウンドや声掛けにて、検討：助言ができた。 →8 月から 9 月にかけて、コロナ感染症のクラスターが発生した。 →継続的な口腔ケア回診により、歯科受診・治療に繋げることができた。また、回診時のアドバイスにより外来受診せずに済むケースも多かった。 →1 日 2 回の検温を継続実施したことで発熱者を確認。該当者に抗原検査を実施し早期発見に努めた。また、協力病院の受診と処方をもって施設内療養に繋げることができた。 →計画通り実施できた。
--	---

合や体調不良が著しい場合は、上司への報告と指示確認 ＊職員の体調管理 ・手指消毒の励行 ・必要な防護具（マスク、防護用ゴーグル）使用の徹底 ・施設内の換気の継続 ・濃厚接触者及び感染が疑われる者との関わりへの配慮 {保健衛生計画} 4 月 利用者健康診断 ＊実施内容 胸部 X 線検査、血液検査、体重測定、血圧測定 ＊対応内容 ・嘱託医への健康診断の結果報告 ・嘱託医の指導のもと、健康指導 ・嘱託医の指導のもと、外来受診 5 月 職員健康診断（特定業務該当職員 10 月に 2 回目実施） ＊実施内容 胸部 X 線検査、血液検査、体重測定、尿検査、聴力・視力検査等、医師の診察 ＊対応内容 ・産業医の指導のもと、必要があれば受診を指導 6 月から 12 月 ワクチンの接種 ＊実施内容 ・希望者に対して、インフルエンザワクチン、新型コロナウイルスワクチン、肺炎球菌ワクチン等の接種 ＊対応内容 ・入所者にワクチン接種の必要性と副反応の説明 10 月 利用者健康診断、特定業務該当職員健康診断 ＊実施内容 ・尿検査、体重測定、血圧測定 ＊対応内容 ・4 月、5 月の対応内容に準じる	→計画通り実施できた。 →利用者健康診断に関しては、協力病院との日程調整等を経て、6 月から 9 月にかけて実施した。 その他は、計画通り実施できた。
---	--

(2) 利用機材のメンテナンスと購入 *正常に使用するための日常的なメンテナンス *故障した場合の施設での修理または業者へ修理の依頼 *利用者に適正な車いすを選定し、購入手続きの代行	→計画通り実施できた。
(3) 福祉用具の選定 *利用者に対して適切な用具の選定 *購入手続きの代行	→計画通り実施できた。
(4) リハビリテーションマネジメント計画の策定と継続 *利用者のリハビリテーションマネジメント計画を策定、同意を得て計画を実施 *計画の定期的（6ヶ月に1回を目安）な見直し *利用者の生活機能の改善、悪化の防止や尊厳ある自己実現のためのリハビリテーション	→計画通り実施できた。
5 生活支援課 給食係 *利用者一人ひとりの生活に必要な栄養及び熱量の十分な確保 *現在の身体状況の維持が可能な食事の提供 *味付け・硬さ・量等の嗜好調査を実施 *利用者より食事を美味しく食べていただけるよう四季折々の食材を用いた 「目で楽しめる食事作り」 *少しでも家庭的な雰囲気が味わえるような食事の提供	→生活に必要な栄養及び熱量確保の目標を達成できた。 →食材の確保に苦慮したが、目で楽しめる食事作りには近づけた。
(1) 利用者の状態把握体重の変化を把握することで一人ひとりの栄養及び熱量の十分な確保と現状の維持 ①栄養状態と喫食状況の把握 ②健康状態に適した食事の提供 ③体重測定の実施（毎月末に実施） ④嗜好調査の実施（年1回）	→計画通り実施できた。
(2) 栄養ケア・マネジメント計画の策定と継続 *新規入所者の栄養ケア・マネジメント計画を策定し、同意を得て実施	→計画通り実施できた。

*最適な栄養ケアのための定期的（6 ヶ月に 1 回）な見直し （3）適時適温の食事提供 ①喫食 2 時間前の調理の徹底 ②調理終了後の温蔵庫の使用 ③生活介護事業への配膳には温冷配膳車を使用 （4）口腔衛生管理及び経口摂取の支援並びに経口維持加算の算定 *嘱託歯科医師による定期的（1 ヶ月に 1 回）な口腔内の検診結果に基づいた対応 ・利用者の咀嚼能力等の口腔機能維持 ・嚥下機能の維持 ・利用者が少しでも長く経口摂取が可能となるための支援 *日々のミールラウンド（食事観察） *得た情報を多職種と共有連携し、問題点等を抽出し対応策を検討 （5）衛生管理の徹底 ①食中毒の予防 ア 手洗いの徹底 イ 調理器具の整理整頓 ウ 食品管理の徹底 エ 感染症の流行時のマニュアルの再確認 ②定期検便の実施 （6）行事食の実施 *旬の食材を生かし、季節感を演出した食事の提供 ①年間の行事食 ア 春の宴 イ 納涼会 ウ 文化祭 エ 大晦日の刺身の盛り合わせ オ その他、各月毎の行事食 カ 委託事業所によるコンセプトメニュー キ 自治会主催焼肉夕食会 ク 海鮮丼献立 ケ 自治会主催海鮮祭り （7）調理器具、食器等の入替	→計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →口腔ケアにより口腔機能や嚥下機能が向上した。 →計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。また、食中毒等の感染はなかった。 →献立の一部変更はあったが、その他は計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。
---	--

*経年劣化による器具・食器等は、随時入替 (8) 掲示物の作成 *利用者の目に留まるような見やすく華やかな献立表の作成 *利用者に少しでも食事や栄養面に興味を持ってもらうための工夫 ・イベント食の実施時には、事前にポスターを掲示	→イベント食のポスターは特に華やかさを重視して作成した。
(9) 食中毒研修 *年1回の実施 *非常時対応研修は年2回、委託事業者と合同で開催 *食中毒発生の阻止及び有事に備えた、マニュアル等の見直し	→計画通り実施できた。
(10) 業務支援ソフトの活用 *利用者へのサービス向上 ・福祉施設業務支援ソフトを利用した日々の食事摂取量、食事の状況等を記録 ・他部所との情報共有、情報の整理、保管	→計画通り実施できた。
6 特定相談事業 相談支援センターマイトーラ	
(1) 目標項目 ①訪問、電話や文書返答等にて利用者、家族のニーズを聴き取り、利用者が地域で生活しやすいサービスを調整 ②他相談支援センター、市町村と密に連絡を取り、サービス等利用計画への反映 ③各研修や会議に参加し、相談支援専門員としての知識、技術向上 ④毎月開催される南魚沼相談支援事業所連絡調整会議に参加し、地域の情報収集	→計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。 →会議に参加し、情報収集に努めた。
(2) 業務内容 ①サービス等利用計画の作成 *利用者、家族のニーズを反映したサービス等利用計画の作成 ②サービス等利用計画の提出 *市町村へ提出	→計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。

③サービス等利用計画の見直し ＊定期的にモニタリング ＊必要に応じてサービス等利用計画の変更 ④地域資源の情報収集 ＊地域のフォーマルサービスの情報に加え、インフォーマルサービスの情報収集	→計画通り実施できた。 →計画通り実施できた。
--	--------------------------------

IV 各種委員会

別に定める職員委員会規程に基づき、委員会毎に年度計画のもと事業を実施

1 感染対策委員会事業計画 (1) 感染対策会議（役職員）の指示のもと、感染対策リーダーを中心に感染予防対策を実施 2 広報委員会事業計画 (1) 広報誌の発行（1回 400部） (2) 動画系 SNS「 Social Networking Service 」を利用した広報活動 (3) 記事に関する資料の収集、原稿の依頼と編集発行 3 ボランティア委員会事業計画 (1) 行事ボランティアに加え、日常ボランティアの獲得 (2) ボランティア会議を開催し、ボランティアとの意見交換の実施 (3) 毎月、月間予定表・ボランティア案内を作成し、ボランティア団体に配布 4 施設内研修委員会事業計画 (1) 職員一人ひとりがスキルアップを図るための研修	→コロナウイルス感染症が発生し、終息後、感染対策リーダーを中心に反省とその後の対応について会議を開催した。 →第 62 号を 4 月に発行した。(400 部) 利用者（家族を含む）に配布、法人理事・評議員、関係諸団体へ郵送した。 →ホームページ内のブログ（週 3 から 4 回）を更新。イベント毎に動画を作成しユーチューブにアップ。インスタグラムも随時更新。 →日々のご利用者の様子や活動を、行事やイベント、施設周辺の様子などを記事とし、気付いた職員が情報収集した。 →定期的な日常ボランティアや傾聴ボランティアの受け入れを行った。 →令和 8 年 3 月 27 日、ボランティア会議を開催した。(参加者 7 名) →毎月、月間予定表を郵送した。 →余興に来所頂いた団体・個人 ・鼓悠様（篠笛、和太鼓の演奏） ・さといもの会様（オカリナ演奏、マジック） ・もみじ会様（踊り、手品、カラオケ）
---	---

(2) 研修予定 4月 欠之上地区クリーン作戦（清掃活動） 5月 食中毒予防研修 6月 身体拘束防止研修 7月 虐待防止研修 8月 コミュニケーション研修 9月 業務継続研修（実技訓練） 10月 欠之上地区クリーン作戦（清掃活動） 11月 感染対策研修（実技） 12月 救命救急法研修（実技） 1月 業務継続研修	→計画通り実施できたが、10月のクリーン作戦は、クマ出没の情報で中止した。
(3) 特別研修	→ 5月 29日 ハラスメント研修 8月 1日 福祉ネール研修 → 9月 12日 BCP 訓練（燃料確保訓練） 11月 4日 感染対策訓練（感染区域仕切り訓練） 12月 12日 BCP 訓練（大型発電機の操作訓練）
5 行事委員会事業計画 入所者の自立と社会参加の促進並びに地域住民、他施設入所者との交流と親睦を目的とした援助	
(1) 施設内行事内容	→ 4月 20日 春の宴 8月 19日 納涼祭 10月 28日 文化祭 12月 17日 クリスマス忘年会 1月 1日から4日 お正月行事 毎月、利用者の誕生日に合わせて、外食や出前による昼食の提供を行った。
(2) 施設外行事内容	→ 6月 27日 オセロ交流会 10月 24日 スポーツ大会（ボッチャ）
(3) 施設外行事その2 （おでかけツアー 年4回企画） ＊利用者の社会的結びつきと係わりの創設 ＊地域コミュニティへの参加と気分転換	→ 5月 28日 群馬県川場田園プラザ 7月 23日 上越市あるるん村、海洋博物館うみがたり、ところてん作り体験 11月 26日 魚野の里施設見学と食事や買物と散策を楽しんだ。
6 防災委員会事業計画 (1) 総合避難訓練 ＊火災、災害時、利用者を安全かつ迅速に避難誘導するための総合避難訓練	→計画通り実施できた。

*火災、災害時、職員が利用者と共に安全かつ迅速に避難するための総合避難訓練 (2) 活動時期と内容 *年2回(7月・10月) *避難訓練、通報訓練、消火訓練、消防設備操作方の確認 7 事故対策委員会事業計画 *毎月実施のスタッフ会議後の委員会開催 *「事故報告書」を基に事故再発も含めた防止に関する事項について協議 *事故内容の詳細について検証の上対策 (1) 日常での対応 *適宜、委員会メンバーを招集し、施設内外で事故の発生が想定される箇所、場所、内容を考慮した対応策を協議 *対応策を示して安全な環境を整備 8 虐待防止委員会・身体拘束等適正化委員会事業計画 (1) 職員の虐待防止意識・知識の向上を図り虐待のない施設づくりを目指す (2) 年2回、職員を対象に「虐待防止チェックリスト」を用いた虐待の調査 (3) 事故対策委員会の報告の中、虐待に繋がる可能性のある内容については虐待防止委員会が対応 (4) 緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束を行わないことを目指した取組の実施 (5) 委員会は、基本年1回以上開催とするが、必要に応じて随時開催	→ 5月22日、10月22日 夜間想定総合避難訓練を実施した。 毎月自主点検表に基づき、建物・設備点検を実施した。 10月7日、消防署による立入検査があった。 →事故報告書等をもとに委員で検証及び検討を行い、再発防止に努めた。 →関係した職員を中心に検証し対策を立て実施するとともに情報共有も行った。 →環境整備を行うとともに、必要物品の購入を行った。 →計画通り実施できた。 → 5月・12月に実施した。また、全職員を対象にストレスチェックを用いアンケート調査を実施した。 → 4月24日、1月29日に委員会を開催した。
--	--

V 【施設・設備等の整備状況】

1 設備・備品等の新規購入及び入替

[入替]

- ① 屋根融雪ボイラー(2台) ② 屋根融雪循環ポンプ ③ 給湯器 ④ 乾燥機
⑤ 洗濯乾燥機 ⑥ タブレットPC ⑦ ノートパソコン(11台)

[新規購入]

① 点検口増設

2 廃棄資産

[基本財産建物]

① 給湯器

[建物]

① 屋根融雪ボイラー（2台）

[器具備品]

① 車いす（2台） ② 乾燥機 ③洗濯乾燥機

VI【職員研修の成果】

令和7年度、介護福祉士国家試験合格者は2名でした。